

月刊 梨香台 動物病院

第11号
発行日 R7.2.1
〒270-2222
千葉県松戸市高塚新田
589-2
Tel: 047-391-1011
編集者 松丸

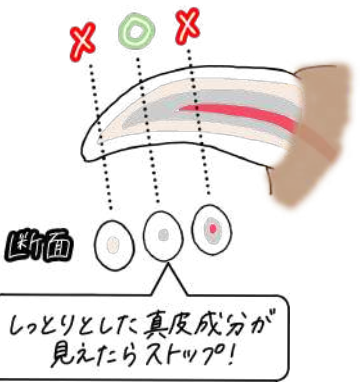
自宅での日常ケアは病気の早期発見につながります!

ご自宅で出来るケアは爪切り、肛門のう絞り、ブラッシング、歯磨きなどがあります。定期的にケアを行うことで、ペットとのコミュニケーションがとれ、病気を早期に発見できることがあります。
今回は爪切りと肛門のう絞りのポイントを紹介します!



爪切りのポイント

爪切りの頻度は個体差や活動量、生活環境などによって変わりますが、1~2ヶ月に1回程度、犬は床にカチカチと当たる音がしたら、猫は尖っていると感じる頃が目安です。

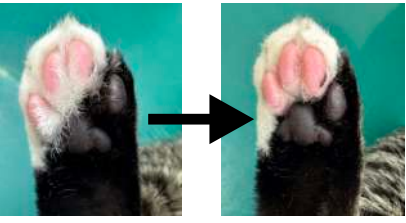


爪の色は個体差があります。白く透けていて、中の血管が目視できる子や、完全に黒い爪の子も。黒い爪の子は断面をよく観察しながら切っていきます。

伸びすぎると巻いて肉球に刺さってしまう、引っかけたり折れてしまう、など怪我のもとになります。

同時にチェック

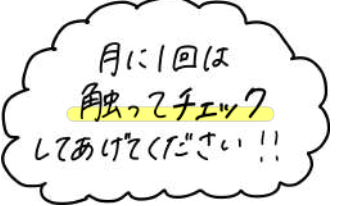
足の裏の毛が伸び、肉球を隠してしまっている状態はフローリング等ですべりやすく、足腰を痛める原因になります。



肛門のう絞りのポイント (肛門腺)

肛門腺とは、肛門の左右にある、においの強い分泌液を出す腺のことです。この分泌液を溜めておく袋を肛門のう嚢といいます。この分泌液には、動物間のコミュニケーションやマーキングの役割を果たします。

通常は排便時や興奮時に自力で排出しますが、上手に排出できない子は人為的に補助が必要になります。



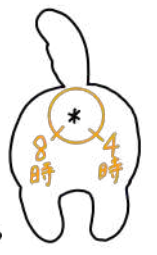
液状・粘土状・クリーム状・粒状など状態はさまざまです。

溜まっている時
肛門を執拗に舐める、気にする
お尻を床に擦りつける

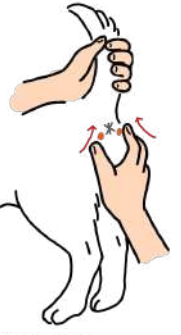
異常に溜まってしまうと
感染や炎症を起こしたり
肛門のうが破裂して肛門周囲から血液や膿が出る

絞り方

肛門のうは、肛門を時計の中心に例えると、4時と8時の位置にあります。



尻尾を上を持ち上げ、親指と人差し指で下からすくい上げるようにして絞り出します。



力まかせに絞るのはNG

無理に絞ると破裂したり分泌液の貯留ではなく腫瘍である可能性もあります。

初めから全てやろうとせず、爪切りは1日1本、肛門のうを触ってみるなど出来そうなものから少しずつチャレンジしてみてください。

当院でも爪切り、肛門のう絞り、肉球に被る毛のカット等を行っております! 全力でサポートいたしますので日常ケアのことでお気軽にご相談くださいね!



はみ出した毛をペット用の安全なバリカン等でカットすると良いでしょう。